

南御堂シアター <第97回南御堂ヒューマン・フォーラム>

【入場無料】

◆ドキュメンタリー映画 108分

ある精肉店の はなし

いのちを食べて

いのちは生きる

2015年

3月11日(水) 午後4時〜 / 南御堂・難波別院 講堂

『祝の島』につづく

はなぶさ
瀬瀬あや監督作第二弾

プロデューサー:本橋成一 製作:よしほ映画社、ポレポレタイムス社



釜山国際映画祭
ワイドアングル部門
正式出品作品



山形国際ドキュメンタリー映画祭
日本プログラム部門
正式出品作品

文化庁映画賞 文化記録映画大賞受賞

第5回辻静雄食文化賞受賞



助成: 文化芸術振興費補助金

牛の飼育から屠畜解体まで、
いのちが輝いている、
前代未聞の優しいドキュメンタリー。

鎌田 慧 (ルポライター)

大阪貝塚市での屠畜見学会。
牛のいのちと全身全霊で向き合う
ある精肉店との出会いから、この映画は始まった。
家族4人の息の合った手わざで牛が捌かれていく。
牛と人の体温が混ざり合う屠場は、熱気に満ちていた。
店に持ち帰られた枝肉は、
丁寧に切り分けられ、店頭に並ぶ。
皮は丹念にめされ、
立派なだんじり太鼓へと姿を変えていく。
家では、家族4世代が食卓に集い、いつもにぎやかだ。
家業を継ぎ7代目となる兄弟の心にあるのは
被差別部落ゆえの
いわれなき差別を受けてきた父の姿。
差別のない社会にしたいと、
地域の仲間とともに
部落解放運動に参加するなかで
いつしか自分たちの意識も変化し、
地域や家族も変わっていった。
2012年3月。
代々使用してきた屠畜場が、
102年の歴史に幕を下ろした。
最後の屠畜を終え、
北出精肉店も新たな日々を重ねていく。
いのちを食べて人は生きる。
「生」の本質を見つけてきた家族の記録。



北出さん家族と一緒にいるときも、
地域にいるときも、私は大きな安心感
に包まれていた。生まれ出た場所で、
自分が自分として生きること。それを
考え抜き、生き抜いてきた彼らは、
しなやかでありながら揺るぎなく、
そして果てしなく慈愛に満ちていた。

監督：額額あや



監督：額額あや プロデューサー：本橋成一

撮影：大久保千津奈 録音：増田岳彦 編集：鶴岡邦彦 サウンドデザイン・整音：江夏正晃(marimo RECORDS) 音楽：佐久間順平 宣伝：西岡里佳 製作デスク：中植きさら
製作統括：大槻貴宏 グラフィックデザイン：大橋祐介 協力：映画『ある精肉店のはなし』を応援する会 製作：やしほ映画社、ボレボレタイムス社
2013年/日本/108分 『ある精肉店のはなし』公式ホームページ：<http://www.seinikuten-eiga.com/>

南御堂シアター <第97回南御堂ヒューマン・フォーラム> ■入場無料/定員150名(自由席) ※定員を超えた場合、座れない場合もございます。

2015年
ドキュメンタリー映画 『ある精肉店のはなし』
3月11日(水) 午後4時～／南御堂・難波別院 講堂 (大阪市中央区久太郎町4-1-11 地下鉄・本町駅13番出口を南へ2分)
※映画の上映後、北出精肉店店主・北出新司さんのお話があります。 <終了予定時間：午後6時半>

主催 真宗大谷派大阪教区「部落差別問題に学ぶ実行委員会」・南御堂 難波別院 / お問い合わせ 難波別院総局 人権啓発推進 (06-4708-3274)